

9月19日以降の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

客席数の上限

観客が大声で歓声・声援をあげることがないイベント

客席数の
100%

例えば・・・

- ・美術館展覧会、展示会
- ・各種教室、ワークショップ
- ・クラシック音楽演奏会
- ・合唱、ジャズ、吹奏楽
- ・演劇、ミュージカル
- ・バレエ、ダンス
- ・講演会、読み聞かせ
- ・入学式、卒業式
- ・上映会

観客が大声で歓声・声援をあげるかもしれないイベント

客席数の
50%

例えば・・・

- ・ロック
- ・ポップス
- ・キャラクターショー

これらのイベントでは、1席あけての着席を基本としますが、5人以内の同一グループは間隔を空けずに着席できます。その場合、異なるグループ間では間隔を空けてください

* 主催者（利用者）の方へのお願い *

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、人が集まる場の前後を含めた適切な感染予防対策の実施にご協力ください。

対策例をあげていますので、参考にいただき、各利用者において工夫した対策をお願いします。

参加者への確認

- 発熱・風邪の症状がないか。（具合の悪い方の参加を認めない。）
- 会場に入る前の手洗いまたは手指消毒を実施しているか。
- 咳（せき）エチケット等の指導をしたか。
- マスクの着用の指導をしたか。（主催者側で準備し、着用率は100%とする。）

感染防止対策の実施

◆換気の悪い密閉空間をつくらない

- ・窓、入口等の開放。常時開放が難しい場合は、定期的な開放を実施。（例：45分ごとに開放する等。）
- ・換気設備があれば、適切に運転する。
- ・会議終了後は、入口を開けたままにし、事務所へ終了した旨の連絡をする。

◆トイレ使用時や入退場時の人の密度を下げる（参加人数やイベント内容により、入場制限をさせていただく場合があります。）

- ・人と人との十分な間隔（1mを目安に）を確保する。
- ・時差入退場、開場時間を早める、休憩時間を長くする等、人と人の接触を減らす対策をとる。

◆観客が大声で歓声・声援をあげるかもしれない場合には、入場者数を50%とし、グループごとに間隔を空ける。

- ・人との距離を概ね1m以上あける。

感染が発生した場合の調査への協力

□感染者が出た場合には、その他の参加者に対して連絡を取り、症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡が取れる体制を確保する。

*入場時やイベント参加時には、各自の連絡先を把握するため参加名簿の記載もしくは厚生労働省の接触確認アプリ（COCOA）や愛媛県独自の通知サービス（えひめコロナお知らせネット）の利用を原則としてください

*重症化しやすい人（ご高齢の方、基礎疾患がある方等）の参加については、慎重な判断をお願いします。

*仮にこうした対策を行えた場合でも、その時点での流行状況に合わせて、急な中止又は延期をしていただく備えも必要です。

*この方針は2020年11月30日までといたします。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況により内容が変わる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。